

○議長（茅沼隆文）

次に、3番、湯川洋治議員、どうぞ。

○3番（湯川洋治）

3番議員、湯川洋治でございます。おはようございます。よろしくお願いします。

通告に従いまして、1項目、質問させていただきます。開成駅周辺インフラ整備進捗状況は。

開成駅急行停車に伴うホーム延伸工事も順調に進み、まさに町民の願いがかなおうとしております。昨年の6月の定例会議におきまして、駅周辺のインフラ整備の質問を行いました。駅周辺の整備については、町として正式に協議会を立ち上げ、まちづくりについて小田急電鉄と協定を結べるようにしたいと聞いておりますけれども、その後の進捗状況はいかがでしょうか。

また、駅前通り線周辺整備事業については、昭和54年に都市計画を決定をしてから相当の時間が経過しております。この事業の推進は、事業費が膨れ上がり、財政を圧迫することのないよう、町としてしっかりと計画を実行する必要があると思います。平成32年度認可申請に向かい着実に進んでいると思われませんが、現在まで地権者との土地利用について、意向確認はどの程度行っているのでしょうか。駅周辺のインフラ整備については、大変重要な問題であり、急行が停車する駅にふさわしい町にするため町はどのようにインフラ整備を進めていくのか、今後の計画をお聞きします。よろしくお願いします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、湯川議員の御質問にお答えします。

3月16日の小田急線ダイヤ改正により開成駅に急行が停車することは、町の将来にとってとても大きな意味があることと認識をしております。開成駅に急行が停まるにふさわしい駅にしておくことについては、西口ロータリーの機能向上のほか、駅前通り線の整備など、南部地域全体のまちづくりとして、きちんと考えていかなければいけないと考えております。

この中で、小田急電鉄とは事務レベルの打ち合わせを定期的に行っているところがあります。進捗状況については、昨年4月、小田急の2018年鉄道事業設備投資計画で開成駅のホーム延伸工事のプレスリリースがされて以降、8回行ったところがあります。最終的には、これからのまちづくりについて、小田急と協定を結べるように持っていきたいと考えておりますが、この協定については、西口ロータリー、駅前通り線整備なども含まれる駅を中心とした南部地域全体にかかわることと考えております。引き続き、情報や意見を交換する場の設置に向けて鋭意取り組みを進めてまいります。

駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業については、みなみ地区と開成駅西口とを結び、あわせて沿道の商業系土地利用を誘導することで都市機能の向上を図るものであ

ります。これまで地権者の方に6回の説明会を開催させていただきましたが、平成30年度は地権者の皆様へ個別訪問を実施して、事業への理解を深めていただくように努めているところであります。また、あわせて、事業計画（案）の立案に向けて土地利用の意向をお伺いしております。

当地区は、市街化区域内で駅に近いという状況などによる減価補償地区として、一部の土地を先行買収する必要がある、町へ売却いただく可能性をお聞きして地権者の意向を参考にさせていただき、事業計画（案）を検討しているところであります。現在の個別訪問の状況では、昨年10月の第6回説明会以降、対象者69名に対し、現段階で57名の方と面談をいたしました。この面談をした57名の方の意向としては、区域内に土地のつけかえを希望する方が約75%、町へ売却を希望する方が約23%、その他、反対の方が約2%という状況であります。

最後に、駅周辺のインフラについて。

駅前通り線周辺土地区画整理事業以外では開成駅への交通結節の機能がとても大事であり、開成駅には東西にロータリーがありますが、東口ロータリーについては、平成27年度の再整備で一時停車スペースを確保するなど、駅利用者の安全性や利便性の向上を図ったところであります。また、西口ロータリーについては、平成6年度に開成駅周辺土地区画整理事業によってバスの乗降場、タクシーの乗り場、自家用自動車による送迎スペースを整備をして、一定の機能を果たしているところでありますが、急行停車に伴う利用者数の増加によって様々な変化が生じると考えられます。

開成町民の利便性の向上はもちろん、足柄地域の拠点駅にふさわしい環境の整備を進めていく考えであります。このことから、平成31年度当初予算（案）には、この関係の基礎的な調査費を計上しております。その後、整備に向けた基本構想等を策定していきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

詳細な答弁、ありがとうございました。いよいよ、この3月、ダイヤ改正によりまして16日ですか、町民の悲願であった急行が停まります。開成町が足柄地域の玄関口になることを期待して、再質問させていただきます。

西口ロータリーの機能の向上ということで、駅前通り線の整備など南部地区全体を考えていくということでございますけれども、以前、私の一般質問で、西口ロータリーの整備と駅前通り線を一体で整備検討の話がございました。いわゆる駅前通り線について、ロータリーを改修したらいかがですかとお聞きしたときに、これは駅前通り線と一体でやっていきたいという答弁をいただいていると思います。

ただし、急行停車が先行して動き始めますので、急行が停まることによりまして、いわゆる相当数の送迎の車が駅のロータリーに来ることが想定されますので、これは私は分離してやるべきだと。ロータリーと駅前通り線の整備については分離す

べきだと考えていきたいと思うのですけれども、町の考えをお聞きしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

議員の御質問ということでは、西口ロータリーの整備と駅前通り線の整備時期、それがセットかどうかというところの趣旨だと思いますけれども、議員おっしゃっているとおり、急行停車については、この3月に開始されるというところでございます。その中でいいますと、駅の利用者の増加の状況を見ながら適切に判断すべきかなと考えているところでございます。そういったところでは、町内外から鉄道利用者の状況、駅周辺の土地利用の動向、また交通の円滑化という部分も適切に捉えながら判断していくというところでございます。この中で、駅前通り線周辺地区土地区画整理事業進捗というのも一つの含まれるところではございますけれども、必ずしもセットということではないと考えております。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

当然、莫大なお金がかかる事業ですので、これを一遍にというのは到底無理だと思いますので、とにかくロータリーを私は何とかしていただきたいと思っていますので、まず、ロータリーの改修をぜひお願いしたいと思います。

それから、小田急さんと事務レベルの打ち合わせを定期的に行い、回数は8回と答弁いただきましたけれども、協議会を立ち上げる、その協議会というのは小田急電鉄と町だけの協議会なのでしょうか、その辺、ちょっとお聞きします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

今、事務レベルで8回の意見交換会をしてもらっていますけれども、先ほど、答弁の話もありましたとおり、駅周辺全体をこれから考えていく必要があると思います。急行が停まる以上は、もちろんロータリーの改修は当たり前ですけれども、駅前通り線もやります。それ以外に、みなみ地区周辺、全てトータルの中で、急行が停まることによって開成駅が近隣の拠点となるようなことを目指していきたいと考えておりますので。

そのような方向の中で、個別の西口ロータリーの改修、駅前通り線の問題、もっと広げた中のまちづくりについて、これから考えていく中で、地権者である小田急さんも含めて、大事な事業所でありますので、まず小田急との関係の中で方向性を決めていきたいと。ほかの人たちのいろいろな意見を聞く場は、また改めて別で協議する場をつくりたいとは思いますが、基本的には小田急さんと町と、その方向性、駅

周辺のまちづくりについて協議できる場を考えていきたいと今は考えております。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

今、町長から改めてということなのですが、もし改めて協議会等のようなものをつくる場合、ぜひ、例えば現役の大学生、例えば工学部に行ってそういう勉強をしている方とか、有識者はもちろんでしょうけれども、広く町から公募して、していただきたいと切にお願いをします。よろしくお願ひしたいと思います。

それから、次に、駅前通り線周辺土地区画整理事業について伺います。街づくり推進課の少ない人員で地権者の土地利用の意向や説明に伺い、ようやく、ある程度の数字が出てきました。地権者の代々受け継いだ土地について交渉を行うには、大変な御苦労があると推察しております。私は、このような職務は専従職員が必須と以前、申しあげましたけれども、今後とも街づくり推進課の職員だけで進行していくのか、お聞きします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

この駅前通り線は本当に難事業だと認識をしています。やはり土地の問題、特に市街化区域で駅前通りというのは、駅に本当に近い大変重要な土地になってきますので、総論賛成、各論反対というふうに、多分、今までの経験則からいくとなってくると思います。やはり、それなりの職員をちゃんとつけて、専属で駅前通り線は進めていくということにしないとなかなか難しいと思っていますので、そういう体制。町内だけで良いのか、県から人を借りてくるか、その辺も含めて、これからきちんと強化をしながら駅前通り線については全力で体制を整えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ぜひ、そうしていただきたいと思います。

現在まで6回の説明会を行いまして、対象者69名中57名の方と面談されたわけですが、この結果は次の7回目の説明会等で地権者には周知されるのでしょうか、お聞きします。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

今現在までに6回の説明会を開催して、その6回目の説明会、昨年10月でございますが、そのときに今後の進め方、そして個別訪問の内容等を御説明した中で個別

訪問を実施しているところでございます。もちろん、この状況については、個別の細かいところは申しあげられませんが、状況ということでは次回の説明会においてはフィードバックすべきかなと思っています。

ちなみに、各説明会については、それぞれの概要等につきましては、欠席された方も含めて全て御連絡等を申しあげた中で、地権者全体、町も含めた中で情報共有を図っているというところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

時期的には、次は、どの時期を考えられていますか。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（石井 護）

私からお答えさせていただきますけれども、結論から言いますと、3月、この時期に予定していたのですが、事業の進行状況において6月あたりかなという形で考えています。

内容的には、先ほどの課長の答弁の補足にもなりますけれども、やはり57名、回った中で、これ、悪い意味ではなくて、非常に事業に対する理解度というののもかなりばらつきがあって、もう少し、しっかりと地権者の方に、回って、理解度を高めていただいて事業に進めていくという状況でないと、なかなか全体を集めて説明会をやっても、ある人はよくレベル的に分かっている人もいれば、そこまでいっていない人もいとなると、説明会自体がなかなか成り立たなくなる可能性があるので、もう少し全体的に熟度を保った中でやっていきたいということで、6月ぐらいを予定してございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

6月ということで理解しました。

それから、ちょっと細かい話をさせていただくようになりますのですが、面談できていない地権者、これが12名いらっしゃるって、その他の2%の方が反対ということですが、地権者12名の面談できていない方と、今後、どのような計画でされるのか。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

今、面談できていない12名の方の状況ということでございますけれども、中には、

今、部長のお話もあったとおり、事業への理解度がなかなか進んでいないというところで、お会いする機会をいただけないという方もいらっしゃいます。ただ、それ以外にも、御家庭の事情なり仕事の関係、また住まれている場所の関係とか、いろいろな状況がございますので、今、12名の方には、それぞれお手紙なり直接お電話するなり、また御訪問するなりという形の中で適宜、進めておりまして、お時間をいただきながら事業の御説明、そしてまた将来への土地利用の状況等を順次お聞きしたいということでは進めているところでございます。できましたら年度内、もしくは、それに近いような時期までには、何とか進めていきたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

大変な作業だと思いますけれども、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

平成32年度を目途に土地区画整理事業の認可申請を目指しているわけですが、単刀直入にお伺いしますけれども、これは進行は遅れているのか、まあまあなのか、進んでいるのか、その辺をちょっと。

○議長（茅沼隆文）

まちづくり部長。

○まちづくり部長（石井 護）

一応、総合計画上のスケジュールからいけば、遅れているというのが現状だと思います。その部分については、ただ、言いわけではないのですが、サボって遅れているということではなくて、やはり相手のあることですから、そちらとのやりとりなりなんなりの中の部分でいけば、若干、遅れているというか。当初、もくろんでいたスケジュールには達していないと、そういうことでございます。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

ぜひ、32年に認可申請ができるように期待しておりますので、よろしくお願ひします。

次に、駅周辺のインフラ整備についてお伺いします。答弁の中で急行停車に伴う利用者の増加によって様々な変化が生じる、足柄地域の拠点駅にふさわしい環境の整備を進めていくといただきましたけれども、今現在、どのような環境整備を考えているのか。例えば、町としての構想はこんなのだよというのがあれば、教えていただきたいのですが。

○議長（茅沼隆文）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（高橋清一）

お答えします。

今、現時点におきまして、西口駅前広場の再整備の考え方というところでの御質問だと思いますけれども、具体的にどういったものをしていくかというものについては、今後、調査した中で検討していくというところでございます。

ただ、この中では、いくつかポイントがあるのかなと思っています。一つとしては快適性、駅前広場としての機能の向上というのが非常に大事なかなと思っています。2点目として町並みというところでは、景観、町の玄関口というところがございまして、そういった視点。そして、あとは、欠かせないのが3点目として安全・安心というところだと思っています。通行している方、通行している車両等が円滑に、そして安全・安心に駅前広場を御利用いただくというようなポイントを持ちながら、今後、調査等を進めていきながら考えていきたいと考えております。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

湯川議員。

○3番（湯川洋治）

冒頭、私が申しあげましたけれども、今、課長がおっしゃったように、やはり渋滞とか安心・安全等という大きな問題があると思うのです。これは「たれば」の話になりますけれども、相当数の人が開成駅に来ると想定されています。ロータリーが渋滞して、通勤・通学の時間帯に渋滞するだろうと。ましてや県道まで渋滞するのではないかという懸念も私は考えているのです。だから、それは、やはり安心・安全という意味では、そういう構想を持ってしっかりと進んでいっていただきたいと思います。

今回は、私、前回、半年前に同じような質問をさせていただきました。今回も重ねて質問しているわけですので、時間を私は1時間もらっていますけれども、私の考え方としては、今、私が述べたような形しか考えておりませんので、ぜひ、これは町の一番の、町長もおっしゃっていますけれども、一番最大の関心事項であるし最大の事業だと思っています。私は、府川町長に政治生命をかけてやっていただきたいと思っていますので、ひとつよろしくお願いします。

以上で質問を終わります。

○議長（茅沼隆文）

これで湯川議員の質問を終わります。